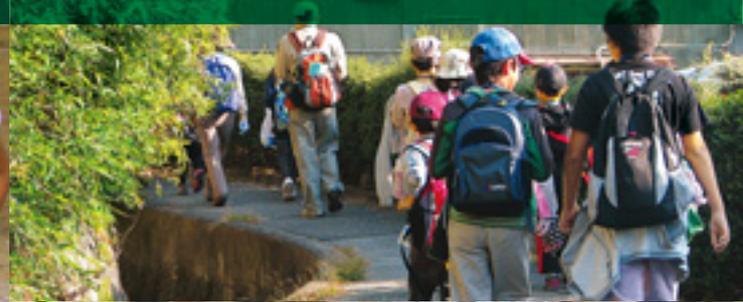




特集

# 子ども ECOアクション!

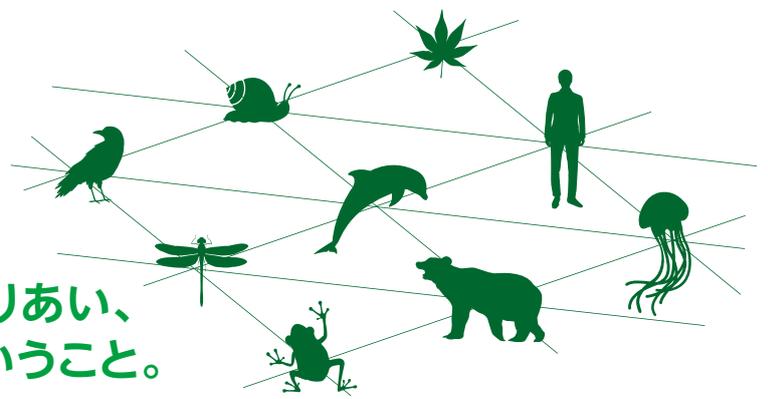
新しい発見をしたときや成し遂げたときの達成感は、その人を大きく成長させるもの。  
西宮市の子どもたちは今、多彩な自然環境活動によって、強く大きく輝いています。



子どもの頃から、自然に親しみ、環境について考える機会を持つことで、命の大切さを知るとともに、まちへの愛着心を育むことにつながります。西宮市では子どもたちによる環境活動が活発に行われています。見て、ふれて、自ら体験し学んだことは自らの力となります。子どもたちの力はやがて、未来の西宮市を創る大きな力となることでしょう。

# ECOアクション① 生物多様性

地球上全ての生き物が、つながりあい、  
ともに支え合って生きているということ。



地球は、非常に多くの生き物が生息する星です。そして、私たち人だけでなく、地球上全ての生き物は他の生き物との「つながり」を持っており、お互いに支え合いながら生きています。このバランスが維持されることで豊かな自然環境が作られているのです。

■種の絶滅速度(一年間に絶滅する種の数)

※資料：ノーマン・マイヤーズ著  
「沈みゆく箱舟」(1981)を基に作成



## 西宮市の生き物も絶滅の危機に瀕しています



カフバタモロコ



ヒメタイコウチ



サギソウ



モリアオガエル

西宮市は豊かな自然環境に恵まれており、貴重な生き物が多く生息しています。ところが、近年の地球規模での環境の変化は、西宮市の自然環境にも影響を及ぼしています。市内に生息する生き物にも、年々絶滅の危険性が高まっている種があるのです。

## 「西宮の豊かな自然を守る!」子どもたちのアクション

### 身近な生き物の生態を学ぶ メダカの学校

環境学習サポートセンターで開催されるイベント「メダカの学校」では、メダカの飼育方教室や水族館クイズ、顕微鏡コーナー、ふれあいコーナーなどを通じて、生き物の生態を学びます。平成 24 年度は、368 名が参加。身近な川の生き物について改めて知る機会となり、子どもたちは目を輝かせ楽しく学んでいました。



### 環境学習フィールド ビオトープ

ビオトープとは、生き物の生息空間のこと。市では保育所や小学校などを中心に設置を進めており、貴重な水辺の生態を確保する役割を担っています。また、子どもたちの環境学習のフィールドとしても利活用を図っており、身近な生態系を体験しながら学ぶ場となっています。



# ECOアクション② 地球温暖化

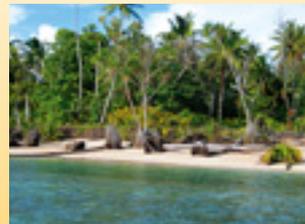
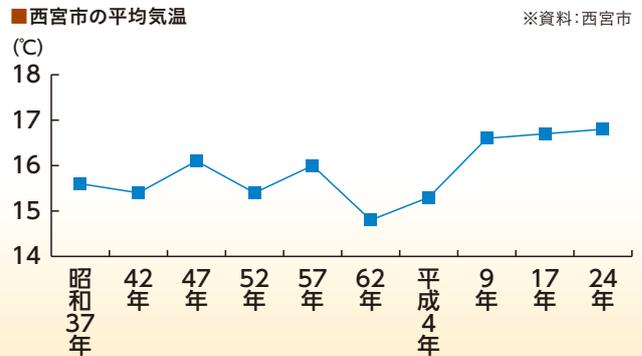


人間の生活が豊かになる一方、その活動が原因で地球の表面温度が上昇すること。

地球の気温は、太陽からのエネルギーと地球から放出される熱のバランスによって決まります。私たち人間の生活は豊かになってきましたが、それに伴い、温室効果ガスが増え続けています。この温室効果ガスが多くなると、地球の気温が上昇し、海面上昇や砂漠化、異常気象の多発など、さまざまな影響が表れます。

世界中で表れている地球温暖化のサイン。  
西宮市も例外ではない。

甲子園浜では、多くの野鳥が飛来し、羽を休める姿が見られます。地球温暖化によって世界的に海面上昇が進んでいくと、このような西宮市の海辺の生態系も失われていく可能性があります。



ツバル(海面上昇によって侵食される砂浜) ※環境省提供



甲子園浜

## 「地球温暖化を防ぐ!」子どもたちのアクション

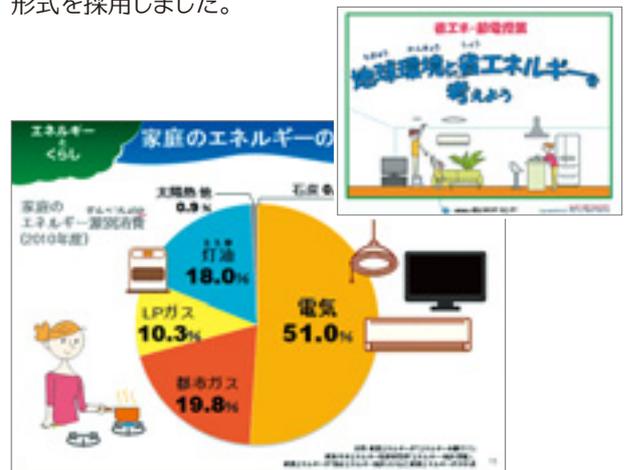
緑のカーテンで  
夏を涼しく過ごそう

緑のカーテンとは、ツル性の植物を壁面などに這わせるように育てた植物のカーテンのこと。設置によって、平成24年8月の晴天日では、カーテン内外で7度も気温差がありました。「フラワーフェスティバル in 西宮」で子どもたちと種まきを行い、夏場の市役所は立派に育ったカーテンに覆われました。

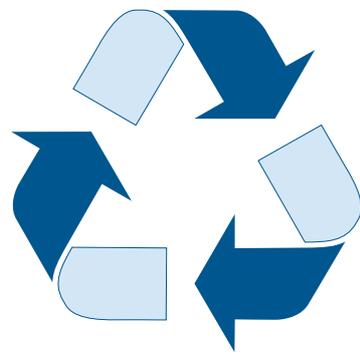


親子で節電にチャレンジ  
地球を守ろう

家庭や職場での節電対策、そして地球温暖化対策に取り組むきっかけ作りとして講習会を実施しました。平成25年度の講習会から、子どもと保護者が一緒に学べる形式を採用しました。



# 資源循環



限りある西宮の、そして地球の資源を有効に繰り返し活用していくこと。

私たちは日常生活を送る中で、地球のさまざまな資源を活用しています。しかし、資源には限りがあります。地球と調和した豊かで住み良い生活を送るためには、限りある資源を有効に活用していくことのできる、資源循環型社会を築いていくことが大切です。

■西宮市で1年間に出るごみの量



リサイクルプラザ

## 循環型社会をつくるために[3R]

**Reduce**  
リデュース

ごみになった後のことを考え、無駄なもの・不要なものは最初から使用しないこと。

**Reuse**  
リユース

一度作られた製品をそのまま何度も繰り返し使い、ごみとなることを防ぐこと。

**Recycle**  
リサイクル

リユースできないものを、別の製品を作るための原料として再生利用すること。

## 「資源を有効活用する!」子どもたちのアクション

親子でゴミ処理の仕組みを学ぶ  
環境バスツアー

普段私たちが出しているごみが、どのように処理や処分・リサイクルされているかを親子で学ぶため、リサイクル企業や処理施設の見学を行います。平成24年度は、12組24名の親子が参加し、普段見ることができないゴミ処理の仕組みを熱心に学んでいました。



資源ごみが大変身  
親子ガラス工房

親子でリサイクルの重要性や工夫について考え、体験してもらおう場として、資源ごみであるガラスコップを使って貯金箱や風鈴を作るイベントを開催しています。平成24年度は36組79名の親子が参加。小瓶にシールやサンドブラストでデザインし、オリジナル作品を作成しました。

